

## 2019年卒業生進路講話 木曽青峰高等学校インテリア科

Ueda Mimari

人との出会いが視野を広げた

### 高校時代は・・・

友達と楽しくおしゃべりしたり、恋をしたりと普通の高校生活を過ごしていました。野球部のマネージャーは楽しくて、やりがいもあって高校3年間を部活に費やしていました。

デザインコースの授業では2週間で1作品を仕上げ、みんなの前で発表をする課題が出されます。部活や他の授業の課題もある中、これがとても大変でした。

もう一つ思い出に残っていることはグループ制作です。「木曽を歩く傘」というテーマで木曽を訪れた観光客の方々が生憎の雨降りでも木曽を楽しんでもらえるような傘のデザインをみんなで考えました。友達と一緒に作品を作り上げることで難しさと達成感と喜びを感じることができました。

高校時代はいろいろな個性や性格を持った人たちと出会い、視野を広げる事ができました。

### 進路選択は・・・

不安がたくさんありました。なぜかという目指すものが決まっていなかったからです。悩んだ結果、「何をやりたいか」ではなく、自分に「何ができるか」と考えるようになりました。そこで、ポイントをまとめてみました。一つ目は自分自身のことをよく知ることです。自分は何が得意なのか、アピールできる場所はどこか、自分が好きなことは、苦手なことは何かを紙に書いてみてください。二つ目は好きなことや得意なことについて少し勉強してみるということです。私の場合はデザインについて調べて見ました。どんなデザインが好きなのか、好きなイラストレーターさんについてなどを調べて見ました。三つ目は先輩に聞いてみることです。自分と同じ進路に進んだ先輩の話聞いてみることも役に立つと思います。四つ目は面接練習をたくさんすることです。練習することで、質問への受け応えがスムーズにできるようになりました。その他に自分の進路と、今までやってきたことに自信を持つことです。

### 会社では・・・

就職してからは会社の制服や名刺のデザイン、情報誌の作成などを行っています。

最後に木曽青峰高校で勉強していることに誇りを持ってください。ここで学んだことは必ず将来の糧になります。色々なことを吸収して色々なことに挑戦してください。



### 上田 未毬

株式会社 アイ・コーポレーション  
デザインマーケティング部

2017年度卒業  
インテリア科デザインコース  
野球部（マネージャー）

- ・高校生活はどうでしたか  
楽しかったです。専門的な事が学べてよかったです。もっとデザインについて勉強しておけばよかったです。あいさつなど基本的な事をちゃんと学ぶことができてよかったです。
- ・高校生、中学生へのメッセージ  
今を楽しく過ごしてください！



## 2019年卒業生進路講話 木曾青峰高等学校インテリア科

Turuhata Amika

成績は常にトップを狙った

### 高校時代は・・・

毎日の部活を一生懸命やりました。三年間厳しい練習に耐え仲間とともに乗り切れたこと私を精神的に成長させてくれたと感じています。勉強面では高校入学前から看護師に興味があったので、ある程度の成績は必要であると考え、一番になりたいという事もあったのですが常に成績トップを狙って勉強していました。

### 進路選択は・・・

看護師になろうと思ったきっかけは、看護師である母の影響が強いです。母の仕事の話を聞いているうちに看護職に対する憧れが強くなりました。高校1年生の時に1日看護体験に参加しました。患者さんの着替えのお手伝いをしたのですが、声の掛け方や介助の仕方が分からず、看護師さんに頼ることしかできませんでした。看護学校へ入学し、もっと専門的な知識を身につけて患者さんに役に立ちたいと強く思いました。私は木曾看護専門学校へ指定校推薦での受験を希望しました。その事も理由の一つですが高校時代は勉強に力を入れました。放課後の勉強会や英語、生物、数学などの夏期講習にも参加をしました。看護医療全国模試も何度も受け、自分にとって何が必要かを考えて積極的に勉強をしました。自分にとって必要なことを得るために情報を集め、自分の力にする事ができました。

### 学校では・・・

看護学校は1クラス30人で全校でも90人と生徒数が少ない学校です。そのため、一人一人への指導が手厚く、より専門的知識を身に付ける事ができると思います。1コマ90分の授業を1日4時間行います。実際に一年間授業を受けましたが、とにかく勉強が大変です。入学式には教科書を40冊以上渡されました。専門用語も多く覚える事がたくさんあるのでテスト前の勉強だけではとても間に合いません。高校生のうちから毎日勉強する習慣をつけることが大切だと思いましたね。病院実習では看護援助を主にしていますが、学んだことが活かせることが嬉しかったです。勉強ばかりのイメージかもしれませんが、学校行事も多いんです。スポーツ大会や赤沢美林に行く森林セラピー、朴葉巻つくりやクリスマス会などがあります。文化祭の白凧祭も行われます。看護師にとって大切な宣誓式も行います。

高校時代にやっておくことは、勉強（国語・英語・理系・情報）と部活だと思います。人の生死に関わる仕事なので精神面の強さも大事です。様々な人と関わりチームワークで医療を行うので、コミュニケーションも大切です。どんな道にでも進むこともできるように勉強をしっかりやって欲しいです。



古畑 明未佳

信州木曾看護専門学校 2年生

2017年度卒業  
インテリア科プロダクトコース  
女子バスケットボール部

#### ・高校生活はどうか

勉強、部活、インテリア科でのものづくりと、全てに力を入れる事ができて楽しかったです。毎日が充実していて、思い出に残る高校生活でした。勉強、部活とも手を抜かずに取り組めた事で自身がつきました。テストが有る無しに関わらず、毎日自己学習をすればよかったと後悔しています。

#### ・高校生、中学生へのメッセージ

自分の可能性を広げるためにも学力は必要だと思います。自分が何になりたいか、どんな事がしたいのか考え、情報収集をし、実現できるために頑張ってください。高校、中学それぞれにその時だからこそできる事を悔いなく取り組むと良いと思います。



# 2019年卒業生進路講話 木曽青峰高等学校インテリア科

Sugimoto Miwa

地域の人と繋がるデザインがしたい

## 高校時代は・・・

高校2年の時に取り組んだ空き家の利用計画でデザインへの考え方が変わりました。私はデザインコースでしたが絵を描くことは上手くありませんでした。空き家の利用計画は、実際に町内の空き家に出掛けて行き、家の大きさや間取りを見てきた後に、グループに分かれて空き家の活用の仕方を考えて、プレゼンテーションをするという授業でした。この課題をやって、絵を描くことだけがデザインじゃない！と気づきました。

3年の卒業制作ではワークショップを行いました。竹で作るランプシェード「竹ランプシェード」を計画しました。自分で竹を取りに行ったり、参加者募集の為にチラシを作ったり、開催する会場をお借りする為に何度も打ち合わせに出掛けたりしました。色々な課題に取り組んでく中で、地域や人と人を繋げる目に見えないデザインに興味を持ちました。学校外の人とも連絡を取って活動することがあり、社会に出てから周囲の人とコミュニケーションを取ることにとっても役立つと思いました。

## 進学について・・・

竹ランプシェードのワークショップへの参加者が少なかったんです。とてもショックでした。開催日になんとか人が集まったのはNPOのお客様のおかげでした。しっかり準備してきたと思ったのですが、自分のPRで集まった人は3人位でした。魅力に感じてもらえるような企画をやって行きたい。人が集まる元気な村になって欲しいと考え、自分に足りない知識を得る為に長野大学で勉強したいと思いました。

## 大学では・・・

基礎を学んだ後は「たねぶろじえくと」に取り組みました。コナラを育てて被災地の子供達と交流しながら植樹するというものです。これからは進路の研究をして行きます。大学では幅広い分野を勉強できます。

普通科目もしっかり勉強してください。大学では分かっている事が前提になります。資格が役立ちました。パソコン検定、色彩検定など取れる資格は取ってください。実習での経験も大事でした。インテリア科での実習は周りに体験した人がいない事が強みだと思います。大学は自分からやらないと勉強できません。インテリア科での勉強の延長が大学かなと思います。価値観の違う人がたくさんいて毎日が新鮮です。今頑張っている事、高校のことを頑張ることとで明るい未来が待っているのではないかと頑張って夢を実現して欲しいです。



## 杉本 美和

長野大学 環境ツーリズム学部3年生

2016年度卒業  
インテリア科デザインコース  
軽音楽部

・高校生活はどうか  
勉強も部活もとても充実していました。周りに何も無い学校ですが、学校で友達と過ごす時間が一番楽しかったですし、自分の将来についてじっくり考えられた3年間でした。専門科目以外の勉強をもっとしっかりやればよかったと思っています。

・高校生、中学生へのメッセージ  
私自身、将来の事を考えるととても息が詰まりそうな気持ちになります。でもそれは自分と真剣に向き合っている証拠だと思っています。そして、前向きに物事を考える事で自分の夢の実現につながると信じています。何でも前向きに考えて、進路を実現できるようにお互い頑張りましょう！

